

都城工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	中国古典学	
科目基礎情報							
科目番号	0007		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	機械電気工学専攻		対象学年	専1			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	テキストはプリントを配布する。						
担当教員	望月 高明						
到達目標							
1) 思想を理解する前提として、論理的に思索する力を育てること。 うぬめしい外装・メッキを剥き落したときに見えてくるものに関心すること。 2) 漢文とい 3) 現代的課題・問題意識を 持つて『孟子』を読むように心掛けること。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	原文を返り点の指示に従って正しく書き下し文に直し、正確に日本語訳することができる。		ある程度原文を返り点の指示に従って書き下し文に直し、日本語訳することができる。		一部は原文を返り点の指示に従って書き下し文に直し、日本語訳することができる。		
評価項目2	孟子や朱子の言説を通して、儒家思想の思惟方法を理解し、更には中国思想・文化について関心を広めることができる。		ある程度は孟子や朱子の言説を通して、儒家思想の思惟方法を理解し、更には中国思想・文化について関心を広めることができる。		一部は孟子や朱子の言説を通して、儒家思想の思惟方法を理解し、更には中国思想・文化について関心を広めることができる。		
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
JABEE (a) JABEE (b) JABEE (f) JABEE C1							
教育方法等							
概要	中国思想は人格の表現であるとき、最もその偉力を感じしめるが、『孟子』についても同様の事態を指摘することができる。『孟子』を読むことを通して、古典を読むことの意義、ひいてはわれわれが人間であることの意味について考え、思索を深めたい。						
授業の進め方・方法	講義は孔子と並び称される儒家の思想家孟子の自著『孟子』を講読する。同書は思想的にも重要な文献であるので、漢文の読解力とともに思想を理解する能力を必要とする。						
注意点	1) 訓点の指示に従って事前に『孟子』の本文を読んでくこと。 2) 常に問題意識を持って授業に臨むこと。						
ポートフォリオ							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	・ 古典を読むことの意義について。 ・ 孟子について。		古典、しかも中国古典をなぜ読むのかということについて考える。		
		2週	・ 「人皆有不」 章		訓点の指示に従って『孟子』の原文を正確に読み、併せて日本語に翻訳できる力を養う。また、孔子・孟子を開祖とする儒学思想の特徴について学ぶ力を養う。		
		3週	・ 「逃墨必帰」 章		同上		
		4週	・ 「諸侯之宝」 章		同上		
		5週	・ 「孟子之滕」 章		同上		
		6週	・ 「人皆有所」 章		同上		
		7週	・ 「言禁而指」 章		同上		
		8週	・ 「堯舜性者」 章		同上		
	4thQ	9週	後期中間試験		同上		
		10週	試験問題の返却及び解説		試験問題の解説及びポートフォリオの記入		
		11週	・ 「説大人則」 章		『孟子』の原文を読むことを通して、作者の意図を適格に把握するとともに、それを文章として表現できる力を養う。		
		12週	・ 「養心莫善」 章		同上		
		13週	・ 「曾皙嗜羊」 章		同上		
		14週	・ 「万章問曰」 章		同上		
		15週	・ 「万章問曰」 章		同上		
		16週	試験答案の返却及び解説		試験問題の解説及びポートフォリオの記入		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							

	定期試験	レポート	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
知識の基本的な理解	3 0	2 0	0	0	0	1 0	0
思考・推論・創造への適応能力	2 0	0	0	0	0	0	0
人間力	2 0	0	0	0	0	0	0
総合的な学習経験と創造的思考力	2 0	0	0	0	0	0	0